

2022～2023年度 小倉中央ロータリークラブ週報



第1295回 本日の例会 4月 3日(月)

本日の例会 観桜会 於：観山荘 別館

例会日 月曜日 12:30～13:30
 例会場 リーガロイヤルホテル小倉
 事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F
 TEL 093-531-4015
 FAX 093-531-1022

会長の時間（3月27日 1294回 例会記録） 林田会長

出席報告 3月27日

WB Cが終わって

日本全国を歓喜の列島に変えました、WB Cが終わりました。

また、WB Cロスです。

23日の新聞に韓国スポーツ紙のことが書かれていました。「野球と書いて大谷と読む。」「歴史上、最も完璧な選手として君臨した。」「アジアの誇りだ。」と絶賛した。大谷は、台湾も韓国も負けてしまったが僕らが優勝すれば「同じアジア人の自分たちもという気持ちになるのでは？」と発言したそうです。今までにソウルの新聞でこんなに日本人を褒めてくれたのはあったかしらと思いました。

23日の西日本新聞の「春秋」蘭に、次のような事が書かれていました。

日本だけでなく世界の人々が受け取ったに違いない夢、挑戦、勇気、努力そして野球とスポーツができる喜び……。

ロシアのウクライナ侵攻から1年以上がたち、深まる世界の混迷と分断、新型コロナ禍による閉塞感といった厚い雲の隙間から差し込む一筋の光のようだった。

二刀流で締めた大谷翔平選手、チームをまとめた最年長36歳のダルビッシュ有投手、攻守で躍動したラーズ・ヌートバー外野手、苦しみ抜いた末に一発を放った村上宗隆内野手、俊足の周東佑京外野手。互いに認め合い、信頼の意図を紡ぎながら頂点に立った。

冷静にタクトを振り続けた栗山監督。ずっと不振続きだった村上を「世界がびっくりするような打者だ。それを証明したい。」と4番、5番に置いた。

メキシコ戦で9回の裏、5対4で負けているとき「ムネに任せた。思いっきりやっこい。」と言ったそうです。大谷も、本人が一番きつかったと思うと言っていました。

結果は、見事な逆転打を放ち決勝へと進みました。

目標を「今度こそ世界一」と掲げつづけて全員野球で頂点に達したことはすごい事だと思います。

途中で胃が痛くなったり、血圧があがりそうになったりしましたが、大体、最初から最後まで見ました。

ある相撲界の指導者が「時代は変わった。スポーツ界を初め、かつての指導者は闘志を前面に、俺に付いて来いだった。」

人も社会も変わる。夢舞台から届いたメッセージを私たち一人一人が実現していくことで「侍」への感謝としたい、と最後に締めくくっていました。

| | |
|----------|--------|
| 在籍会員数 | 42名 |
| 義務出席者 | 38名 |
| ゲスト | 5名 |
| ビジター | 0名 |
| 本日出席数 | 30名 |
| 本日出席率 | 78.94% |
| 前々回修正出席率 | 92.68% |

次週の例会は、4月10日(月)

「ブランディングと動画制作」
 (株)RAID 代表取締役 宮原寿光氏

4月のお誕生日

24日 江口 勇二会員
 27日 大久保 裕文会員

今月の主な予定

10日(月) 定例理事会
 12日(水) 二水会
 23日(日) 地区大会
 29日(土) IA 年次大会
 30日(日) 双葉学園野球交流会

幹事報告

古川幹事

・次週4月3日(月)は、観桜会です。送迎バスは、18:30KMMビル前集合です。なお、観桜会の開始は、19:00です。

・4月の定例理事会は、10日(月)に変更となります。

・臨時理事会報告

①2名の新会員推薦を了承

②加藤丈雄会員、今年度末で退会

③トルコ義援金に関する件

一人1,000円 合計42,000円を予備費より拠出

ニコニコ献金報告

累計 514,600円

林田・古川・野口会員―東筑紫学園高校 IAC 代表の方、本日は活動報告を宜しくお願い致します。

野口会員―19日に林田会長のところの林龍平酒道場の新酒を飲みに行って、抽選会で一等に当たり、賞品でおいしそうな日本酒を頂きました。今年の運をこれで、使い切ったかも・・・?!

細川会員―おかげさまで、無事に大学院を卒業できました。ありがとうございました。

梶原会員―本日例会終了後、次年度理事会があります。次年度の理事の方々、どうぞよろしくお祈りします。

白石会員―都合で少し早めに退出します。申し訳ありません。

合計 12,000円

卓話の時間

「インターアクト国内研修報告」

東筑紫学園高校インターアクトクラブ 会長 廣重玲子

私は、3/24～3/26の3日間、東筑紫学園インターアクトクラブを代表して、2700地区の各校の代表約20名と共に長崎県杵岐での国内研修に参加しました。2泊3日という短い時間でしたが、さまざまな名所への訪問や友人との活動を通して、多くのことを考え、学びました。今回行ったたくさんの活動について、簡単に報告させていただきます。

1日目、来島してはじめて一支国博物館を訪れ、杵岐の歴史に関する卓話を聞いた後、弥生時代のジオラマ模型や、その他さまざまな出土品を見学しました。中でも、一支国の王都跡とされる原の辻遺跡は、出土した当時の柱を基に復元されており、弥生時代の生活風景を存分に思い起こすことができました。その後、観光名所である猿岩や、干潮の時のみ訪れることのできる小島神社を訪問しました。その後、宿泊先の杵岐島荘にて、豪勢な夕食をいただきました。

杵岐の自然の中で育った杵岐牛や、新鮮な刺身をいただき、疲れも吹っ飛びました。

2日目は、朝、串山海水浴場の清掃を行いました。はじめに訪れた時、海岸は見渡す限りゴミだらけで、かなり衝撃を受けました。拾っても拾っても、石を動かすとまた大量のゴミが出て来るという絶望的な状況でしたが、1人1人が全力で清掃を行った甲斐があり、70分という短い時間で30袋分以上のゴミが集まりました。とはいえ、数年後には再びたくさんのゴミで埋め尽くされてしまうことは火をみるより明らかで、清掃を続けると共に海洋ごみを減らす手立てを考えて行動していかなければならないと、改めて思いました。午後は、シーキャンドル作りを行いました。製作を通じて、同じ班の仲間とより絆を深めることができました。

そして夜、事前研修時から準備を進めていたプレゼンの最終発表を行いました。テーマは、「海洋プラスチックを減らすために私たちにできること」です。私の班は、3Rと関連づけて、エシカルファッションの実践や、量り売り商品の購入などを、今後の行動指針として提案しました。プレゼン準備、発表を通して、環境問題を自分事として考えるようになり、また、意見を擦り合わせて1つのものをつくっていく大変さを知ることができました。また、プレゼン後は、ロータリアンの皆様から貴重な意見を沢山いただき、有意義な時間を過ごすことができました。

3日目は、1日目同様、杵岐の歴史や自然を存分に感じることで観光名所を巡りました。最後にはロータリアンの方お2人からエールとして歌のプレゼントもいただきました。また、帰りの船が出港する際にはたくさんの島の方々が見送りに来てくださり、その暖かさに感動しました。

最後になりましたが、今回の研修でたくさんの経験ができたことも、新たな友人との繋がりを作ることができたことも、ひとえに、費用の大部分を負担して下さったロータリークラブの皆様や、現地で何から何まで気にかけてお世話して下さいましたインターアクトクラブ地区委員の方々のおかげです。今回の研修で学んだことを今後の生活にも活かしていきたいです。本当にありがとうございました。

